

# 関係機関と連携し、特別支援教育の充実した指導・支援を実現しましょう

群馬県教育委員会では、平成26年度より特別支援教育エリアサポート事業を実施しています。本事業等を活用するなど関係機関と連携し、特別な教育的支援が必要な児童生徒への充実した指導・支援を実現させていきましょう。

## ◆◆ 特別支援教育エリアサポート事業について ◆◆

本事業における主な支援として、県立特別支援学校の専門アドバイザーによる幼稚園や小・中学校、高等学校等（以下「小中学校等」）へのサポートがあります。小中学校等からの要請に基づいて学校を訪問し、発達障害等のある幼児児童生徒への支援や教員研修の充実等について助言や援助を実施します。（教育事務所の特別支援教育専門相談員の訪問もこれまでどおり実施しています。）

## ◆◆ 専門アドバイザーの活用について ◆◆

今年度7月までに、管内の小中学校等に専門アドバイザーが訪問した件数は、のべ340件になります。「研修等で聞いてきたことを実践しているが、うまくいかない」というようなことはありませんか。専門アドバイザーは小中学校等に訪問し、以下のようなサポートを実施しています。

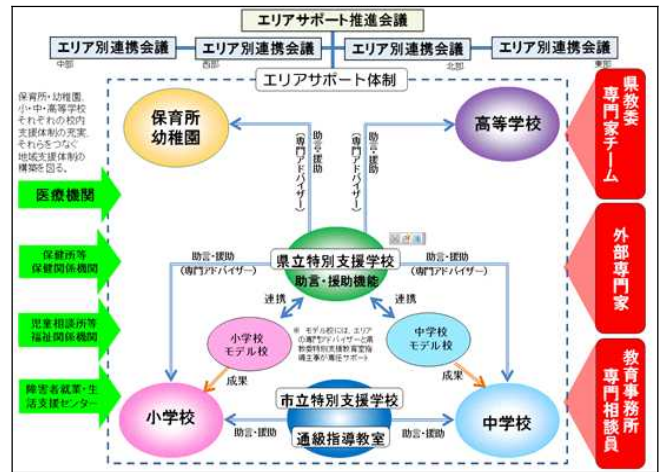
- ・ 特別な教育的支援を必要とする子どもの見方や接し方の助言・情報提供
- ・ 特別支援学級の教育課程の編成についての助言・協力
- ・ 校内体制づくりに必要な役割分担等についての助言・協力
- ・ 関係機関との連絡調整 など

訪問後には、今後の目標やそれに対する手立てなどが記入された相談記録を、学校に送付してくれます。専門アドバイザーに継続的に訪問してもらいながら、相談記録などを参考にして、自校の支援体制を構築していきましょう。

## ◆◆ 充実した指導及び支援の実現に向けて ◆◆

特別な教育的支援を必要とする子どもたちにかかわる際には、学校と関係機関が共通理解をした上で指導・支援をしていくことが重要です。特別支援教育コーディネーターを中心にケース会議等を開いて、特別な教育的支援が必要な子どもの指導の目標や指導・支援の方法を決定して全教職員で共有しましょう。また、定期的に校内委員会を開いて、それまでの取組を振り返り、目標や指導・支援の方法の検証・改善を行いましょう。その際、必要に応じて専門アドバイザーなどの関係機関と連携し、助言を得ることにより、自校の支援体制をさらに充実させましょう。

\* 専門アドバイザーの活用を希望する場合は、リーフレット「平成27年度 小・中学校、高等学校等サポート事業」（平成27年4月配布）を参照し、各学校から配置校の専門アドバイザーに連絡してください。



### 専門アドバイザー配置校

- 高崎特別支援学校（県）
- 藤岡特別支援学校
- 富岡特別支援学校
- ※高崎高等特別支援学校
- 盲学校
- 聾学校
- 赤城特別支援学校
- 二葉特別支援学校
- ※二葉高等特別支援学校
- あさひ特別支援学校
- （※主に高校が対象）

### 高崎市立中居小学校（平成27年度エリアサポートモデル校）の取組

今年度、高崎市立中居小学校は西部エリアのエリアサポートモデル校として、県立高崎特別支援学校専門アドバイザーと県教委特別支援教育室指導主事からなる支援チームのサポートを受け、特別支援教育の充実を図っています。以下に取組内容の一部を紹介します。

- ① 指導・支援の充実
  - ・ 特別な教育的支援を必要とする子どもへの指導・支援の方法の検証
- ② 研修
  - ・ 教職員の資質向上のための研修
  - ・ 子ども理解のためのケース会議
- ③ 校内体制づくり
  - ・ 校内委員会を中心とした校内体制づくり
  - ・ 個別の指導計画の作成
- ④ 保護者や関係機関との連携
  - ・ 専門家と連携した専門性向上に係る研修（「専門性向上検討会議」）



支援チームの方々には、1学期に10回訪問相談に来ていただきました。先生方の意識が高まり、アドバイザーの先生に積極的に質問する姿が見られるようになりました。今後は、ケース会議の進め方について研修を行い、さらに支援体制の充実を図る予定です。